

公園等での大会・練習会開催時における配慮についてのお願い

2021年（令和3年）1月14日
公益社団法人日本オリエンテーリング協会

公社）日本オリエンテーリング協会では、2020年4月1日付で皆様へのお願いを発信し、また6月には活動再開に向けてのガイドラインを公表しました。その後、皆様の協力の下、オリエンテーリング活動も徐々に平常に近い形で実施できる状況となっております。

一方で、いくつかの会員から、公園等で開催されるスプリント競技について、市民の方からのクレームが寄せられている旨の情報も入っています。改めて発出された緊急事態宣言下において、特に公園など多くの人が集まる可能性のある公共空間（以下、公園等と呼ぶ）では以下の点を確認の上活動することを、改めてお願いいたします。

*** イベントの開催の可否については、その時点での社会情勢、土地所有者ないし管理者の意向、イベントの規模・対象者・重要性、他の公園利用者の動向、といった観点から、管理者等も交えて再度検討する。**

*** 公園等での競技・練習会（主としてスプリント）については、競技以外（注）ではマスク（または口を覆う布）着用で活動する。**

*** 集合場所、フィニッシュなど参加者が集まりやすい場所でも、極力密集を避け、また公園等利用者の活動を妨げないように、最大限の配慮をする。**

注：ここでいう「競技以外」とは、練習など成績が重要ではない練習会やウォーミングアップやダウンなどの成績とは直接関係ない運動を意味します。また、競技中も可能である限りマスクを着用することを検討してください。

広い屋外で行われる活動での感染の懸念はほとんどないことが指摘されていますが、一方で近隣の公園にはリフレッシュのために多くの市民の方が集まります。その中には基礎疾患などにより感染症について特に注意すべき方、様々な考えを持つ方もいらっしゃいます。オリエンテーリングは、ほとんどの場合、他人の土地、公共の場を使うスポーツであり、それらを共有する人々の理解は不可欠です。

当法人はこれまでも、長期的な視野と爆発的感染防止の両方のバランスを踏まえた皆さんへのお願いをして参りましたので、この基本的な方針になんら変更はありません。また、今回の緊急事態宣言ではイベント等の一律自粛は要請されない見通しですので、その中でのイベントの継続ができる状況を私達自身が作っていくことが重要です。場を共有する人々からの理解を得るためには、私達自身の行動が重要なのだという点を改めて意識したオリエンテーリング活動をお願いします。

以上